

広報レポーターが気づいたまちの魅力

# 住みよさ実感

五感で感じる散歩道!  
印西市のパワースポット  
“ふれあいの小径”  
こみち



広報レポーター  
木下 詩織 (大塚)



鳥居の先には神秘的な空間が

印西市のマイナースポットを発掘したい!そんな思いから地図を開いてみると、ある場所を発見。印西市竹袋“ふれあいの小径”……?これは確かめに行くしかない!

“ふれあいの小径”は200メートルほどの短い散歩道。事前情報によれば、竹袋稻荷神社から出発するルートがおすすめとのこと。神社の専用駐車場に車を止め、赤い鳥居をくぐると、そこは青々と生い茂るコケが神秘的な空間でした。神社の歴史は古く、「1288年、京都伏見稻荷神社より<sup>かんじょう</sup>勧請された」との説明も。あちこちに祭られたキツネの像や人形が癒しです。

神社の本殿を右手に、奥へと進んでいくと、「ふれあいの小径」の看板が見上げるほど高い木々に圧倒されたり、高い声でさえずる鳥たちの声に癒されたり、巨大なキノコの数々に興奮したり。葉の隙間から差し込む木漏れ日は美しく、思いがけず感動的。自然の世界にゆったりと身を委ねる心地よさを、皆さんも味わってみてくださいね。



この看板から小径がスタート



竹袋稲荷神社の本殿からのルートがおすすめ



今年度の各月の  
レポートはこちら▶



高い木々に囲まれた「ふれあいの小径」